



白聖はくあ 第1号 令和5年4月10日発行



《2023年度 進路実現達成のために》

新年度がスタートします。新しい学校・新しい学年・新しいクラス・新しい出会いなど、多くの刺激や環境の変化の連続に戸惑うこともあるかもしれません。環境が変化した時、その変化に対応するには時間がかかるものです。ですので、不安なことや心配なことがあっても、焦らないでください。少しずつ少しずつ、環境に慣れてくるものです。

さて、「出会い」とは、新しい自分の創造と言っても過言ではありません。人はそれぞれ生育環境が違うため、考え方や行動様式が異なります。人の出会いとは、「新たな価値観・新しい視点」との遭遇でもあります。これはこうあるべきだ、こうでなければならないと思っていた考え方が、新しい価値観との出会いによって、なるほどこういう考え方もあるのかと、選択の幅が広がっていきます。人は、出会いによって一つ成長することができ、出会いは自分を高めることができる絶好の機会でもあります。他者を知ることで、自分との違いがわかり、そこから自分自身について知ることのできる機会でもあります。

みなさんが素敵な出会いを迎え、他者との様々な協働を経て、今後より一層健やかに成長していくことを期待しています。

また、高校時代は社会に出るための最後の準備期間でもあります。自分の将来を見つめ目標や希望を思い描くことも必要になってきます。目標を設定し実現するためにも、友達や仲間との交流を通して、人間性を高め、豊かな感性や、困難を乗り越えるための強い心を身につけていきましょう。さらに、自分自身で考え、判断し、行動し、その結果に対して、自分自身で責任を持つ機会も増えてくることでしょ。

それを可能にするかどうかは、みなさんがいかに主体的・積極的に自分の高校生活・自分だけの物語を創り上げていこうとするかにかかっています。自分自身で明確な目標を掲げ、実現させるための努力を続けていきましょう。青森高校で揺るぎない信念を持って、たくましく学校生活を送ってほしいと思います。

全校生徒みなさん一人ひとりが、安心して進路実現を達成できるよう、支援していきますので1年間よろしくをお願いします。

《進路指導部員紹介》

令和5年度進路指導部メンバー

たまた ひでのり 玉田 英徳 (主任)	理科	バレーボール部
なかつ はやと 中田 隼太 (副主任)	数学	テニス部
まつもと いくお 松本 郁夫	美術	美術部
さとう あんり 佐藤 杏莉	国語	写真部
いわや けいしゅん 岩谷 圭峻	公民	サッカー部
すずき もりひろ 鈴木 護大	英語	バドミントン部

《令和5年度入試及び最近3年間入試結果》

4年制大学合格状況(延数)

区分	入試年度		
	R5 (73期生)	R4 (72期生)	R3 (71期生)
国立大学 合格数	159	155	158
公立大学 合格数	20	23	18
国公立大学合格者数	179	178	176
私立大学 合格数	234	253	347
在籍数	274	278	276

大学別最近3年間合格者数(延数)

大学名	入試年度		
	R5 (73期生)	R4 (72期生)	R3 (71期生)
旭川医大		1	2
小樽商大		1	
北海道大	7	4	5
帯広畜産大			2
北教大札幌校		1	
北教大釧路校			1
北教大函館校		3	1
室蘭工大			1
弘前大	43	47	45
岩手大	14	12	12
東北大	25	22	22
宮城教育大	7	4	3
秋田大	1	1	5
山形大	5	4	13
福島大	3	1	2
茨城大	4	5	3
筑波大	1	4	1
宇都宮大		4	2
群馬大			
埼玉大	3	5	6
千葉大	4	4	6
東京海洋大	2		1
お茶の水女子大		1	
電気通信大	2	1	
東京大	1	3	1
東京医科歯科大	2		
東京外大	1		1
東京学芸大	6	3	2
東京芸大			
東京工業大	1	1	
東京農工大			1
一橋大			
横浜国立大	3	5	2
長岡技術大			
新潟大	8	6	8
上越教育大			
山梨大			
金沢大	3	2	2
富山大	5		1
福井大		1	
信州大		2	2
静岡大		1	1
名古屋大	2		
京都大	2	1	
大阪大		2	
神戸大	1		
和歌山大			1
徳島大			1
山口大			1
九州大			1
その他	3	3	
国立大学計	159	155	158

※国公立は前・中・後期
および総合型・学校推薦型選抜・独自の合計

【公立大学】

大学名	入試年度		
	R5 (73期生)	R4 (72期生)	R3 (71期生)
創路公立大		1	
はこだて未来大		1	
札幌市立大			
青森県立保健大	2	2	1
青森公立大		3	3
岩手県立大			1
宮城大	2	2	
秋田公立美大			1
秋田県立大	2		
国際教養大		1	
高崎経大	1	5	5
群馬県立女子大			
東京都立大	1	2	3
横浜市立大	4	1	2
長岡造形大			2
都留文科大	1	2	1
静岡県立大	1	2	1
長野大			
岐阜薬大			1
名古屋市立大			
大阪公立大	1		
兵庫県立大			1
その他	5		
公立大学計	20	23	18

【私立大学】

大学名	入試年度		
	R5 (73期生)	R4 (72期生)	R3 (71期生)
青森大	3	2	4
青森中央学院大	4	2	1
岩手医大	2	5	2
東北学院大	10	22	13
東北福祉大	6	11	8
東北医薬大	8		12
自治医大	2		1
青山学院大	3	2	4
学習院大		1	2
北里大	4	1	2
慶応大	3	5	3
国際基督教大		1	
駒澤大	10	7	15
芝浦工大	3	5	15
上智大	3		
専修大	11	13	8
中央大	13	14	36
津田塾大		4	2
東海大	8	2	3
東京農大	7	9	6
東京理大	6	10	10
東洋大	4	10	10
日本大	7	3	10
日本女子大			2
法政大	13	9	18
明治大	12	12	8
明治学院大	1		5
立教大	2	6	9
早稲田大	10	17	10
同志社大	2	4	1
立命館大	3	3	
その他	74	73	126
私立大学計	234	253	346

※併・報告により集計。複数受験方式も含む。

【大専校】

大学校名	入試年度		
	R5 (73期生)	R4 (72期生)	R3 (71期生)
防衛医科大学校			
防衛大専校		1	
大学校計		1	

【身につけて欲しい7つの習慣】

～ 進路実現は規則正しい生活習慣から始まる ～

① 提出物は必ず期限を守ろう。



提出物は提出して終わり。ではありません。提出してからの始まりです。提出物には必ず担当者がいます。担当者は全員が提出を完了しなければ、次の作業に入れません。もし自分が担当者だとしたら困ってしまいますよね。自分一人の問題ではなく、相手の時間を奪ってしまうことにもなります。提出期限までには必ず提出する習慣を身につけていきましょう。

② 用事があるときは朝のHRまでに伝えよう。



皆さんは毎日の始まりをどのように過ごしていますか？多くの人は朝のうちに、その日のざっくりとした日程を確認して、ほどよく予定を立てていることかと思えます。さて、相手のことを考えると朝のうちに伝えておくことでお願いされた側は予定を立てやすくなりますよね。また、書類作成や複数の分掌（学年・教務部・生徒指導部・事務部など）が絡んでくるとすぐには用意できません。急用なものでなければ、朝のうちに伝える習慣を身につけていきましょう。

③ 短期・中期・長期で計画を立てよう。



短期（1週間単位）・中期（1学期単位）・長期（1～2年単位）ごとに、何となくで構わないので先を見通して計画を立ててみましょう。その時に便利なものが、年間行事予定・月間行事予定やスケジュール帳・スケジュールアプリなどです。見通しや目標を立てることで、毎日の過ごし方にメリハリが出てきます。部活動・各教科の学習・プライベートな時間など大忙しの高校生だからこそ、ざっくりと計画を立てる習慣を身につけていきましょう。

④ 時間と約束を大切にしよう。



やるときはやる。休むときは休む。それぞれの時間をその時々に合わせて、優先順位をつけて大切に過ごすてください。また、人との約束は些細なことでも極力守りましょう。約束を守るということは社会に出てからも重要なことです。約束を守ることは他者を大切にすることです。「すみません」ではなく「ありがとう」が行き交う高校生活にしよう。

⑤ 最善策・次善策・譲歩策の3つを考えよう。



最善策（自分の中で最も良い策・案・予定）、次善策（最善策が成り立たない場合に、自分の中で2番目に良いと思う策・案・予定）、譲歩策（考え得る中で、自分の中で譲歩できる策・案・予定）の3つを考えよう。世の中すべてが自分の望み通り（最善策）になることはありません。そのときの状況や情勢によっては譲歩策になることも多々あります。大切なのは譲歩策をとった後にどのような行動・改善策をとるかです。人生とは、自分にとっての最適解を探ることの連続です。3つの策を考える習慣を身につけていきましょう。

⑥ 知人友人・家族・自分を大切にしよう。



自分の都合だけ考えて行動しているうちは、どれだけ年齢を重ねても未熟な人であると考えます。相手は何故そのような状況・状態なのか。表面上には見えてこなくても何かしら困った事情があるのではないかと。少しで構わないのでこのような視点を持ってください。相手の立場に立って考えられる人・背景には何があるのか本質を捉えて行動を取れる人こそが成熟した人だと思います。知人友人・家族・そして自分を大切にすることを身につけていきましょう。

⑦ 自分の頭で考えて行動し自分で責任をもとう。



当たり前のことですが、実は難しいことです。何かを考える時には最低限の知識が必要です。知識は多ければ多いほど物事を多面的・複合的に物事を考えることができます。また、その場の状況や条件によってどのように行動するかは変わってきます。そのときに大切になってくるのが過去の事例や先人たちの智慧です。過去の事例を知ることによって我々は自身の経験がなくとも追体験することができます。中には批判的に捉える問題もありますが、そのときに意識して欲しいことがあります。それは「相手を貶めることなく、批判と同時に批判以上の改善策と責任を持つこと」です。批判をすることは誰でもできます。しかしそれでは物事は解決しません。当事者意識を持って自分ならどうするか。責任ある立場の人が判断を下した背景には何があるのか。よく考えてみてください。俯瞰して物事を見つめ、自分の頭で考えて行動する習慣を身につけていきましょう。